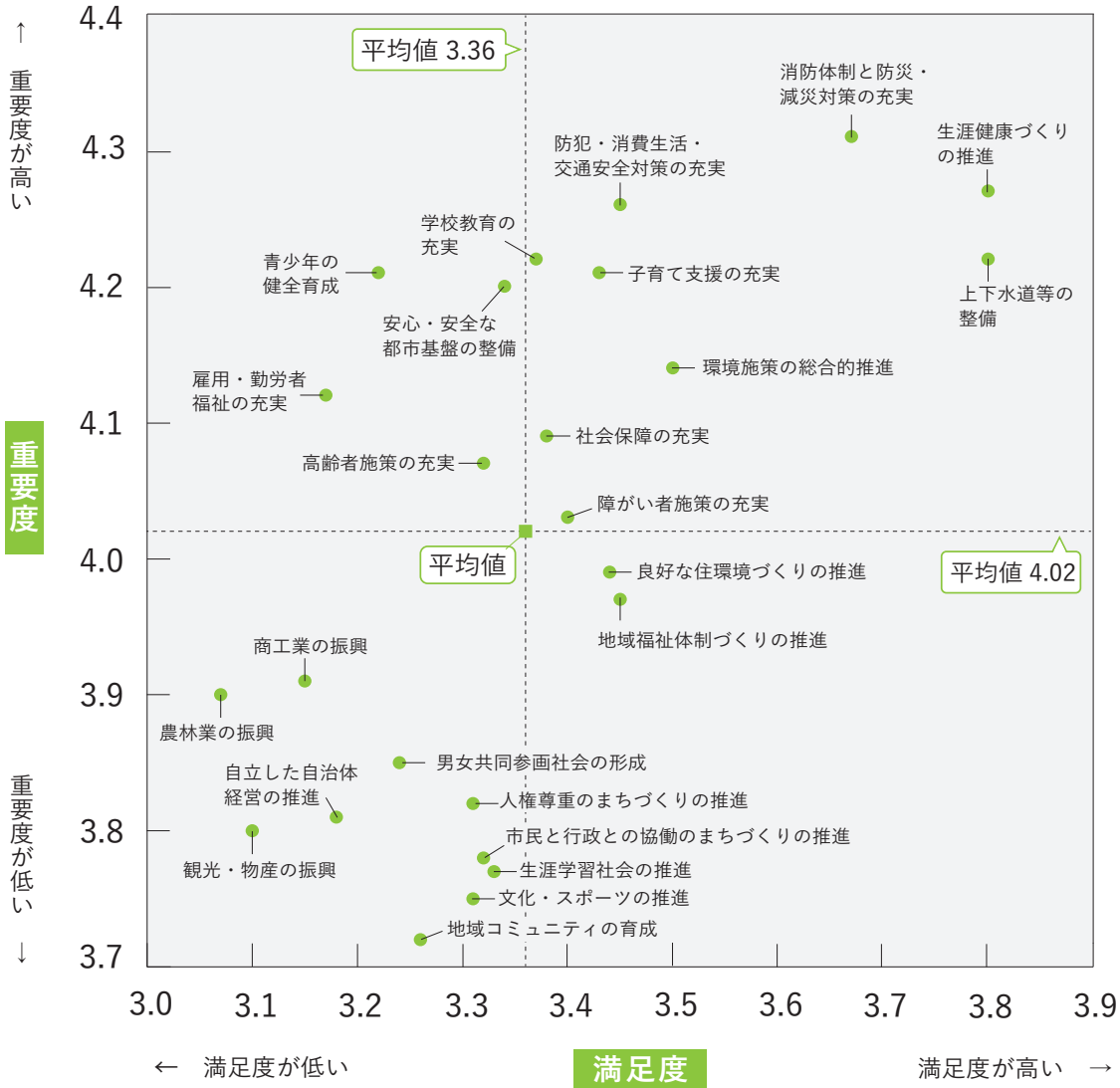


各施策の満足度と重要度の関係

市で取り組んでいる施策に皆さんが感じている満足度と重要度を整理しました。

「満足／重要」5点、「ある程度満足／やや重要」4点、「どちらともいえない」3点、「やや不満／あまり重要ではない」2点、「不満／重要ではない」1点とし、施策ごとに平均点を示しています。



どのようなまちにしたい？（複数回答可、上位5項目）

年齢別にみると、19歳以下では「美しい自然環境や景観が誇れるまち」、40～49歳、60～69歳、80歳以上では「保健・医療・福祉の充実したまち」、その他の区分では「安心・安全な住環境の整備を優先するまち」が最も高くなっています。

安心・安全な住環境の整備を優先するまち

54.8%

保健・医療・福祉の充実したまち

54.7%

美しい自然環境や景観が誇れるまち

42.9%

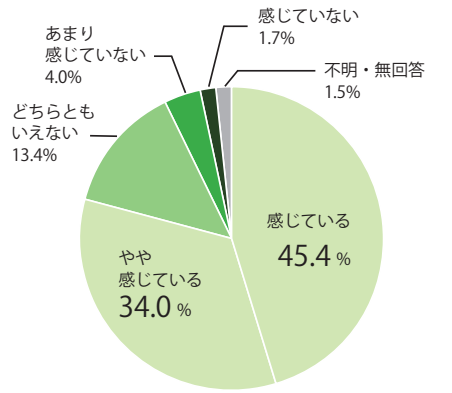
保育・教育環境が充実したまち

28.6%

農業や農村環境を大切に育てるまち

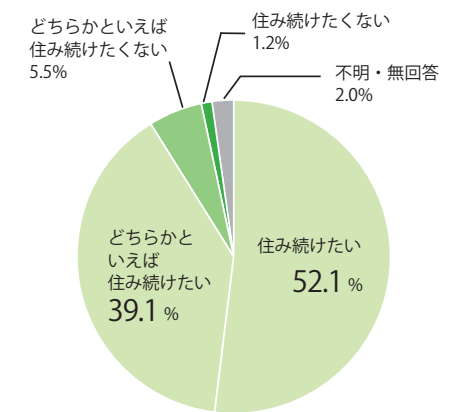
24.6%

愛着度



約8割の人が愛着を感じています。

今後の永住意向



9割以上の方が「住み続けたい」「どちらかといえば住み続けたい」と思っています。

プラスと感じる特徴（複数回答可、上位5項目）

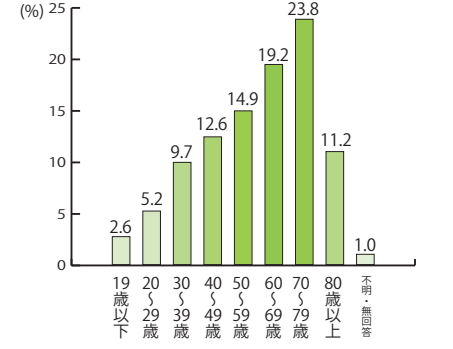
(件)		
1位	自然環境が豊か	246
2位	医療施設が充実	232
3位	交通の便がよい	157
4位	暮らしやすい、住みやすい	98
5位	松山市に近く便利	81

マイナスと感じる特徴（複数回答可、上位5項目）

(件)		
1位	交通の便が悪い	178
2位	商業施設が少ない	122
3位	観光資源や特産品、地域の魅力が少ない	104
4位	少子高齢化・過疎化	78
5位	ゴミが出しにくい	68

調査の概要

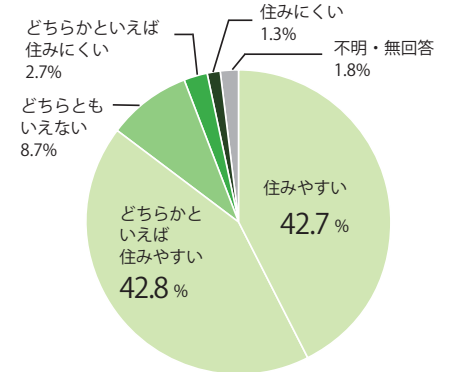
- ◇調査対象…16歳以上の市民（無作為抽出）
- ◇回収率…37.9%（1,138件／3,000件）
- ◇回答者の年齢別構成



◇回答者の居住歴（%）

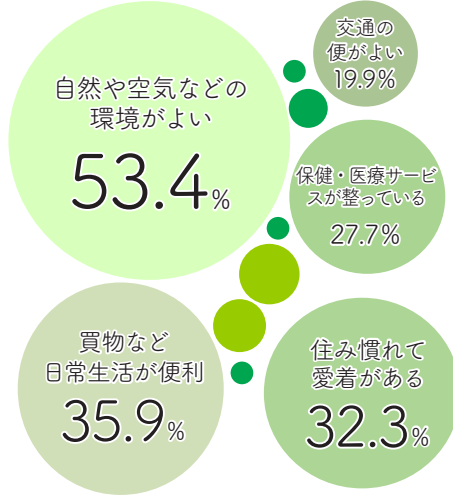
居住歴	割合 (%)
生後、ずっと住んでいる	15.2
市外での居住歴あり	18.9
県内の市町村から転入	51.4
県外から転入	12.8
不明・無回答	1.7

住みやすさ



8割以上の方が、「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」と感じています。

暮らしやすいと感じる点（複数回答可、上位5項目）



あなたに選んでもらえるまちであるために

昨年12月に行った「まちづくり市民アンケート」の集計結果をお知らせします。いただいたご意見は、現在策定を進めている第3次総合計画の基礎資料とさせていただきます。アンケートにご協力いただいた皆さん、ありがとうございました。